



大型機器向け EMC 試験 サービス概要

Large Mobility Laboratory

株式会社 UL Japan 事業所案内

[ctech.UL.com/ja/](https://ctech.ul.com/ja/)

本社 〒516-0021 三重県伊勢市朝熊町4383-326
東京本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館6階
T: 03-5293-6000 F: 03-5293-6001

問い合わせ先
コンシューマーテクノロジー事業部
Email: ConsumerTechnology.JP@ul.com

本社安全試験所 〒516-0021 三重県伊勢市朝熊町3600-18
T: 0596-24-8008 F: 0596-24-8002
本社EMC試験所 〒516-0021 三重県伊勢市朝熊町4383-326
T: 0596-24-8999 F: 0596-24-8124
グローバルマーケットアクセス T: 0596-24-8116 F: 0596-24-8095
湘南EMC試験所 〒259-1220 神奈川県平塚市めぐみが丘1-22-3
T: 0463-50-6400 F: 0463-50-6401
横輪EMC試験所 〒516-1106 三重県伊勢市横輪町108
T: 0596-24-8750 F: 0596-39-0232
鹿島EMC試験所 〒289-0341 千葉県香取市虫幡1614
T: 0478-88-6500 F: 0478-82-3373
オートモーティブテクノロジーセンター (ATC) 〒470-0217 愛知県みよし市根浦町1-3-19
T: 0561-36-6120 F: 0561-36-6820

UL の名称、UL のロゴ、UL の認証マークは、UL LLC の商標です。© 2022
その他のマークの権利は、それぞれのマークの所有者に帰属しています。
本内容は一般的な情報を提供するもので、法的並びに専門的助言を与えることを意図したものではありません。



大型モビリティ試験棟

Large Mobility Laboratory



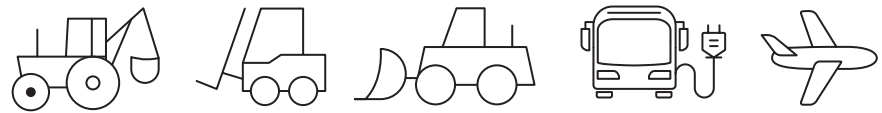
建設機械などの大型機器向け日本最大規模の EMC 試験棟
高い技術的専門性と最新規格対応の試験能力
信頼のパートナーとして多方面でのコンプライアンス対応を支援

建設機械に関する規格の強化

2021年に、建設機械に関する最新規格「EN ISO 13766-1,2:2018」の強化が予定されています。この強化により、放射イミュニティの上限周波数が拡大し、建設機械本体への電波照射が求められることとなります。欧州に上市する際は、最新規格への適合が必要となります。さらにはカナダ、オーストラリア、ロシア、湾岸諸国、アフリカ諸国なども今後同等の規格が採用される可能性があります。国内で建設機械が利用可能な電波暗室の確保が求められる中、ULは、技術革新や制度変革に伴い変化する法規制／規格への適合を支援するため、新たに三重県伊勢市に電波暗室を開設する運びとなりました。

大型機器対応サービス

大型機器向け電波暗室は、建設機械に限らず設備の仕様範囲内であればフォークリフト、クレーン、バス、トラック、電車、大型農機、小型飛行機、大型パワーコンディショナなどもEMC試験対応が可能です。



認定機関



各認定機関のロゴが対象とする認定の範囲はそれぞれ異なります。
詳細は次のウェブサイトを参照してください。
http://japan.ul.com/resources/emc_accredited/
すべての試験が、リストされている認定それぞれによりカバーされているわけではありません。

大型機器向け電波暗室

寸法 (W×D×H)	17.9 m×23.0 m×11.0 m
ドア寸法 (W×H)	8.0 m×8.0 m (スライド式段差無)
暗室内耐荷重	100 ton
ターンテーブル	3 m / 1 ton
電源容量	最大400 V 200 A
対応周波数	EMS：20 MHz～6 GHz EMI：9 kHz～40 GHz
その他	排ガス設備、ガス検知器、 遠隔非常停止システム、装置固定フック、 天井クレーン (3 t未満)、 暗室前組立エリア (30×50 m)

小型電波暗室

寸法 (W×D×H)	6.0 m×7.15 m×4.4 m
ドア寸法 (W×H)	1.8 m×2.0 m (スライド式段差無)
電源容量	最大200 V 30 A
対応周波数	EMS：20 MHz～6 GHz EMI：10 kHz～3 GHz

対応試験・対応規格

新設備では、各種EMC試験が対応可能です。

EN ISO 13766-1/-2	建設機械EMC (新)
EN 13309	建設機械EMC(旧)
JIS A 8361-1/-2	国内建設機械EMC
ISO 11451-1	車両イミュニティ共通
ISO 11451-2	車両放射イミュニティ(ALSE)
ISO 11451-4	車両BCI
ISO 11452-1	部品イミュニティ共通
ISO 11452-2	部品放射イミュニティ(ALSE)
ISO 11452-4	部品BCI
ISO 10605	車両 / 部品 静電気
CISPR 12	車両エミッション
CISPR 25	部品エミッション
ECE Regulation No.10	自動車国際規制EMC
ISO 14982	農・林・造園・園芸用機械向けEMC
ISO 7176-21	電動車いすEMC
EN 50498	アフターマーケット品EMC
EN 12895	フォークリフトEMC

他に車載機器EMC試験も対応可能

多方面でのコンプライアンス対応支援

無線搭載機器は、日本を含む約140か国/地域で製造・上市・利用に電波法が要求されています。各国電波法認証取得・認可申請を代行します。
最新の設備と技術的専門性を活かし、新しいシステムや技術革新に応じて常に変化している法的規制や基準へのコンプライアンスをサポートします。

建設機械の部品の信頼性試験 (高温・低温・振動・熱衝撃・落下・防水・粉塵・塩水) も対応可能です。



組立エリアおよび建屋



特別仕様の大型扉

ISO / IEC 17025
認定

南アフリカ (SABS)
認定予定

欧州 E マーク発行機関
認定予定

自動車メーカー EMC
規格対応

